

こどものまなざし



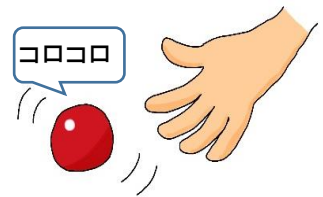
2022年9月
<3号>

～触ることを通して、世界を知りたい気持ちを高めていく～

乳幼児期の子どもは、幼いほどにまだまだ道具やおもちゃを上手に扱えなかったり、おもちゃへの興味や関心もすぐに途切れてしまったりするのが普通です。この時期には、色々なものに触って、その触り心地を楽しませてあげることが大切です。手で触ることは、見えにくさのある子どもにとって視覚の情報を補う体験になります。触ることを楽しみ自分から触りたがることは、知って喜び力を養います。

そこで、相談では安全に配慮しつつ、色々な**素材**、**形**、**大きさ**のものに触れるような経験が積めるようにしています。同時に、物の名前や特徴に言葉を添えてあげたり、擬態語・擬音語を使ったりして、子どもと一緒に遊んであげるようにします。

こうした言葉を総称してオノマトペと言いますが、オノマトペには人の声や動物の鳴き声、自然現象や物事の状態、人の気持ちを表す表現もあります。



きらきら ガタガタ ドキドキ パラパラ ぴったり すっきり
ぶるぶる のんびり わくわく わんわん つるつる など

このように例を挙げてみただけでも、子どもの生活で日常的に使うオノマトペはたくさんあります。子どもとのコミュニケーションで積極的に使うようにすることで、物事の感覚的な違いが分かるようになったり、自分でも触ってみようという探求心を養っていったりすることができます。



本校の乳幼児教育相談では、相談担当2名がお子さんの目の見え方に心配のある保護者さんの相談に応じています。0歳から年長さんまでのお子さんが通っていますので、部屋はお子さんの好みや発達に合わせて、オーダーメイドで設定しています。また、保育所や幼稚園に在籍されているお子さんもあり、必要に応じて在籍する園等を担当者が訪問させていただき、お子さんに合わせた過ごし方を園の先生方に提案させていただくこともあります。



神奈川県立平塚盲学校 乳幼児教育相談

アイキッズルーム

月～金 10:00～12:00、14:00～16:00

0463-31-1341

“乳幼児教育相談の申し込み”と電話でお伝えください。

担当(下原・小川)が対応いたします。

